

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：夏花壇におけるジニアの優良品種の選定（第 69 回全日本花卉品種審査会）			
〔要約〕ジニア「ベリーズ ディープローズ（TZ959）」、「プロフュージョン レッドイエローバイカラー」、「TZ-1068」はいずれも不良環境耐性が高く、露地の植栽において高い観賞性を有しており、夏花壇植栽に適する品種である。			
フリーワード ジニア、品種比較、種苗審査会、開花数、初夏植え			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 花植木研究室 協力機関 （一社）日本種苗協会		
実施期間	2023 年度		

〔目的及び背景〕

千葉県の花壇用苗類全体の作付面積は令和 4 年産で 104ha あり、全国第 2 位の出荷量を誇る（千葉県・千葉の園芸と農産）。その中でも、ジニアは耐暑性等の不良環境耐性を高めた新品種が育成されており、夏季の植栽用花壇苗として需要が伸びている。不良環境耐性については品種間差がみられることから、高温期の露地環境においても観賞性を維持できる品種が望まれている。

なお、本試験は第 69 回全日本花卉品種審査会ジニア（夏花壇）として実施する。

〔成果内容〕

- 令和 5 年の日平均気温は、5 月 10 日の定植以降は寒暖差が大きく、6 月以降は平年値より 3℃以上高くなる日が多かった（図 1）。降水量は全体的には平年より少なかったが、6 月 2 日から 3 日にかけては 90mm/日程度の、6 月 9 日と 7 月 1 日は 30mm/日前後の大雨となった（図 1）。これらのことから、近年に見られる猛暑と短時間強雨の起きた気象条件下でも観賞性の高い品種が選定された。
- 7 月 24 日に行われた立毛審査では、1 等特別賞が「ベリーズ ディープローズ（TZ959）」（タキイ種苗（株））、2 等が「プロフュージョン レッドイエローバイカラー」（（株）サカタのタネ）、3 等が「TZ-1068」（タキイ種苗（株））であり（表 1）、これら入賞 3 品種が夏季の植栽に適している。3 品種の特性は次のとおりである。
- 入賞品種はいずれも開花数が植栽の 24 株あたり 300 輪以上と非常に多く、株割れ等による草姿の乱れが少なく、病害の発生も認められない（表 2）。
- 花色は「ベリーズ ディープローズ（TZ959）」が濃ピンク、「プロフュージョン レッドイエローバイカラー」が赤色と黄色の複色、「TZ-1068」が明るい赤色である（写真 1、写真 2、写真 3）。
- 草姿は、「ベリーズ ディープローズ（TZ959）」と「プロフュージョン レッドイエローバイカラー」は株張りが旺盛で植栽部を面で覆う形状である（写真 1、写真 2）。

「TZ-1068」はコンパクトな状態を維持して生育するため、寄せ植え等の用途に向く（写真3）。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域の花壇苗生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

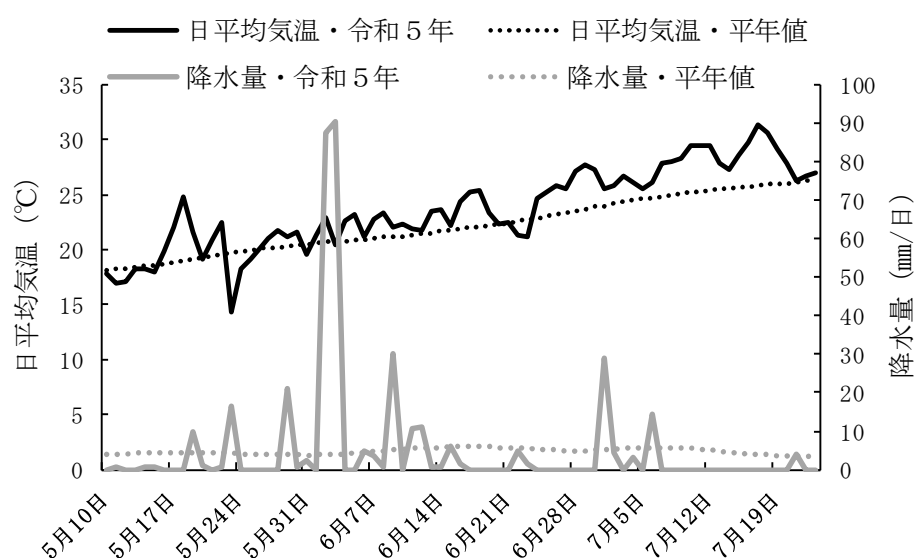


図1 日平均気温及び降水量の推移（令和5年5月10日～7月23日、気象庁 観測地点：千葉）

表 1 出品品種・系統の点数及び上位入賞名と出品社名

出品番号	平均点	順位	等級	品種・系統名	出品社
11	84.50	1	1等特	ベリーズ ディープローズ (TZ959)	タキイ種苗(株)
4	83.13	2	2等	プロフュージョン レッドイエローバイカラー	(株)サカタのタネ
10	82.38	3	3等	TZ-1068	タキイ種苗(株)
6	80.00	4			
9	80.00	4			
8	79.00	6			
1	75.75	7			
7	74.63	8			
2	73.13	9			
3	72.88	10			
5	71.63	11			

注 1) 土壌消毒：令和 5 年 4 月 4 日にバスアミド微粒剤散布 (30kg/10a) 及びポリフィルム被覆、4 月 27 日に被覆除去
 2) 施肥：5 月 2 日被覆複合ハイコントロール オール 10-100 (N:P₂O₅:K₂O=10:10:10) を窒素換算で 15kg/10a を全面施肥し、生育期間中の追肥はなし
 3) 定植：5 月 10 日
 4) 補植：なし
 5) 栽植方法：株間・条間各 30cm (試験区：畝幅 1.2m×畝長 1.8m、区間 0.4m、通路幅 1.0m)
 6) 区制：1 区 24 株 (4×6=24 株)、2 反復
 7) かん水：散水チューブにより随時かん水
 8) 除草：6 月 1 日、6 月 14 日、6 月 30 日及び 7 月 11 日の計 4 回
 9) 花がら摘み：6 月 22 日及び 7 月 11 日の計 2 回
 10) 審査日：7 月 24 日

表 2 出品品種・系統の生育及び病害発生程度

順位	品種・系統名	開花数 (輪/24株)	草姿	病害の 発生程度	病害の 種類
1	ベリーズ ディープローズ (TZ959)	364	0.0	0.0	
2	プロフュージョン レッドイエローバイカラー	312	0.5	0.0	
3	TZ-1068	368	0.0	0.0	
4		363	2.5	0.0	
4		267	1.0	0.0	
6		322	0.0	3.0	うどんこ病
7		345	2.5	0.0	
8		307	2.5	0.0	
9		306	2.0	0.0	
10		269	3.5	0.0	
11		296	4.0	0.0	

注 1) 草姿：株割れや倒伏の程度を以下の 5 段階で評価し、平均値で示した (n=2)
 0：発生なし 1：一部の株で軽微な株割れが発生しているが観賞性に影響なし
 2：一部の株で軽微な株割れが発生しており、観賞性にも影響を与えている
 3：複数の株で株割れが発生しており、観賞性が低い
 4：株の倒伏や枯死が広く発生し、観賞性が著しく低い
 2) 病害の発生程度を 0 (無)～4 (甚) の 5 段階で評価、平均値を示した (n=2)
 3) 調査日：令和 5 年 7 月 26 日



5月11日



6月14日



7月24日

写真1 1位「ベリーズ ディープローズ (TZ959)」(タキイ種苗(株))の生育



5月11日



6月14日



7月24日

写真2 2位「プロフュージョン レッドイエローバイカラー」((株)サカタのタネ)の生育



5月11日



6月14日



7月24日

写真3 3位「TZ-1068」(タキイ種苗(株))の生育

[発表及び関連文献]

令和6年度試験研究成果発表会(花植木部門)

[その他]